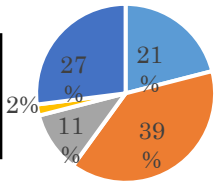
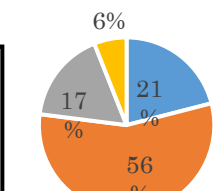
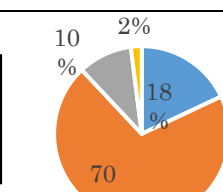
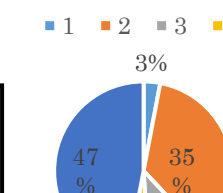
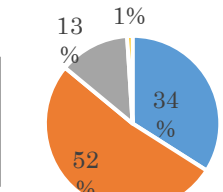
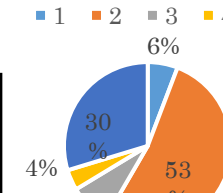


令和7年度 生徒・保護者アンケートの結果について(抽出項目)

★1:とてもよくあてはまる 2:あてはまる 3:ややあてはまらない 4:あてはまらない 5:わからない

生徒	自分の家は、デジタル機器や SNS を使うときのルールがある。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	家庭では、子供がデジタル機器や SNS を使うときのルールがある。	
結果	保護者の肯定的な回答の割合は77%ですが、生徒の肯定的な回答の割合は60%であり、17%の差があります。また、生徒の27%が「わからない」と回答しています	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や学活において<u>情報リテラシー(情報モラルを含む)や SNS 東京ルールについて継続して指導していく。</u> <u>SNS のルールについて具体的な事例を挙げながら指導を行い、生徒が日常生活に生かせるようにしていく。</u> 保護者会や三者面談等と通じて、<u>各家庭に SNS 家庭ルールをつくることや、そのルールに沿った家庭での使用をお願いしていく。</u> 	

生徒	授業では身につけるべき力(めあて、目標)が黒板などに提示されているので学びやすい。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	ユニバーサルデザインで学習環境が整えられ、授業も学習のめあてや流れが示されている。	
結果	生徒の肯定的な回答の割合は88%ですが、保護者の肯定的な回答の割合は38%であり、50%の差があります。また、保護者の47%が「わからない」と回答しています。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用して、一人一人の理解の状況や能力、適性に合わせた<u>個別最適な学びをより一層推進する。また、特別な支援を必要とする生徒に対する効果的な活用を推進する。</u> 授業中にタブレット端末による意見の発信や共有等の<u>協働的な学びを通して、生徒の学びを深める工夫を行う。</u> ユニバーサルデザインやタブレット端末を活用した取組の工夫等について、<u>土曜授業公開や学校便り、学校ホームページ等による紹介を通して、保護者に積極的に周知する。</u> 	

生徒	学校は安心して安全な学校生活が送れるところだ。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>生徒</p>  </div> <div> <p>保護者</p>  </div> </div>
保護者	いじめ未然防止への取組、早期発見・対応など、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。	
結果	生徒の肯定的な回答の割合は86%ですが、保護者の肯定的な回答の割合は59%であり、29%の差があります。	
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動等を通して、<u>生徒同士が互いの良さを認め合い、信頼を高めることができる取組を工夫して行う。</u> 生徒同士のトラブルの際には、<u>丁寧に聞き取りを行い事実確認するなど、迅速に対応する。</u> いじめは、いつでもどこでも起こりうるとの認識のもと、教員が普段から生徒の様子や人間関係を丁寧に見取り、「<u>いじめ見逃しゼロ</u>」を目指す。 いじめ防止の取組について、<u>学校便りや学校ホームページ等で保護者に積極的に周知する。</u> 	